

## 1. 学力に関する調査結果より

- ア. 例年通り、3年生がH30年4月17日(火)に、「国語A・B」「数学A・B」に加えて、「理科」の3教科の調査に取り組みました。国語、数学のABとは、Aは「主として知識に関する内容」、Bは「主として活用に関する内容」を問うものです。
- イ. 本校生徒の、3教科の平均正答率は、全国・県平均(ともに正答率約70%)と比べて、約3ポイント～約5ポイント以上、上回っていました。
- ウ. 国語Aでは、「話す・聞く力」「書く力」「読む力」等において、満遍なく安定した力の定着(正答率約80%前後)が見られました。
- エ. 国語Bでは、「話す・聞く力」は(約80%弱)と高く、難解な漢字問題等「書く力」での正解率は約40%弱でした。(全国・奈良県とも同じ結果)。
- オ. 数学A「数と式」や「図形」に関する問題は70%時以上の正答率で、「関数」での正答率は50%を少し上回る結果(全国・県とも同じ結果)でした。
- カ. 数学Bでは、特に「資料の活用」を問う問題の正解率は40%弱という結果でした。(全国・奈良県とも同じ結果)。
- キ. 理科では、「物理」「化学」「生物」「地学」の4つの領域から出題され、本校は平均的な力(65%～75%の正解率)が定着しているという結果でした。  
特に「自然事象への関心・意欲・態度」に関する問題の正答率は約80%を越えており、全国・県に比べて10ポイント以上高い結果でした。本校区が自然に囲まれた豊かな環境にあることが、この結果につながっているものと考えています。
- ク. その他、本校の良かったこととしては、3教科とも「無回答率」が全国・県に比べて低く、難解な問題にも粘り強く取り組む姿勢が読み取れ、現2年生、1年生にも是非とも見習って欲しいことと考えています。
- ケ. 引き続き、生徒が主体的に学ぶ姿勢や、さまざまな知識や技能の習得及び興味・関心が高まる授業となるよう研究に励みたいと考えています。

## 2. 生活習慣や各自の行動や考え方に関する調査結果より

※各Qの問い後の数字(%)は、本校生徒の肯定的な回答率

### ◆ 毎日の生活習慣について

Q(7)「朝食を毎日食べていますか」約92%

Q(9)「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」約89%

Q(8)「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」約68%(県70%、全国74%)、

特に、Q(8)の質問では、県・全国平均に比べ、2ポイント～6ポイント低く、十分な睡眠が摂取できているのか、心配しています。

健康の保持・増進のためにもリズムのある生活を心がけましょう。

## ◆ 自尊感情・自己有用感

『自尊感情（自己肯定感）』とは、「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在」だと思える心の状態のことで、単に人より優れているという感覚とは違います。

人は誰にでも「長所や短所（できること、できないこと）」があります。それら全てを含めて、自分がかけがえのない存在だと感じるのが自尊感情で、人として社会を生きていく上で欠くことのできない感情（気持ち）の持ち方であると言えます。

一方、『自己有用感』とは、「他人の役に立てた」、「他人に喜んでもらえた」「他人から認められた」等、他人との交わりや他人との共存の中で育まれる感情のことで、社会性（周囲の人々と社会生活を営む上で必要となる力のこと）の基礎となるもののことです。

いずれも、君たち中学生として、しっかりと身につけてもらいたい力（感情）であり、今回の調査結果を検証し、注意すべき事について考えましょう。

Q（1）「自分にはよいところあると思いますか。」 約77%

Q（2）「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」 約75%

Q（3）「将来の夢や目標を持っていますか。」 約72%

上記の通り、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」という本校の肯定的な回答は、いずれも県・全国平均とほぼ同じ割合の結果でした。

Q（6）「人の役に立つ人間になりたいと思うか」 約90%

この質問の肯定的な回答は、とても高い結果となっています。

今年度、さまざまな行事や機会ある度に、君たちの良いところや優れているところを褒め、君たち自身が気づいてくれるように伝えてきました。君たちの精一杯の頑張りに多くの人が感動を覚えました。次年度も、引き続きこういった取組の姿を見せてもらいたい。そして、君たち一人一人の自尊感情(自己肯定感や自己有用感等)を高めていきたいと考えています。

## ◆ 規範意識

人が社会生活を営むためには、人として守らなければならない「きまり」や「ルール」といったものが存在します。すなわち、このようなことをしっかりと守ろうとする心を、「規範意識」といい、この意識を高めることは、みんなが平和で安心して暮らしていくためにとっても大切なことです。

Q（4）「学校の規則を守っていますか」 約96%

Q（5）「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」 約93%

上記2つの質問に対して、高い回答結果となっており、君たちの規範意識の高さの表れと受け取っています。

現在、落ち着いた状況で学校教育活動が展開できています。

引き続き、君たち一人一人の規範意識が高まるよう、さまざまな機会（講演会・防犯教室等）を通して、関係機関の人たちとも連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

また、君たちからの訴えや情報に対し、しっかりと受け止めるとともに、君たちが出すサインを見逃したり・見落とししたりすることのないよう、学校体制で取り組んでいきます。

この光明中学校が、誰にとっても安心・安全に通える学校であるよう、みんなで守り通していきましょう。